

## 編集委員会



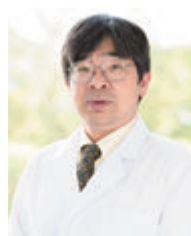
森脇 真一先生



梶本 宜永先生



上杉 康夫先生



萩森 伸一先生



寺崎 文生先生



新田 雅彦先生



元村 直靖先生



津田 泰宏先生



田中 慶太郎先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生

## 編集後記

本号の特集、座談会では「ロボット支援手術」が取り上げられました。「Great Surgeon, Great Incision.」との言葉を信じて手術を学んできた外科医にとっては、本当に隔世の感を覚えます。振り返りますと、私の時代では開腹手術、腹腔鏡下手術、ロボット手術と段階を踏んで現状があるのですが、世代を超えた手術機器として本学の手術室でもda Vinciの本格的な稼働が始まっています。各診療科医師、臨床工学技士、看護師らが多職種でカンファレンスを重ね、安全な導入、本学独自の工夫やこれからの展望につきより良い手術を目指した手術室での取り組みの様子が生き生きとレポートされました。ロボット手術は次世代で確実に需要が増えて行くことが予想されますが、近い未来にはロボットが手術機器の主体となるでしょう。これから未来に向かっての手術室のさらなる進歩が大変楽しみです。

編集委員 田中 慶太郎